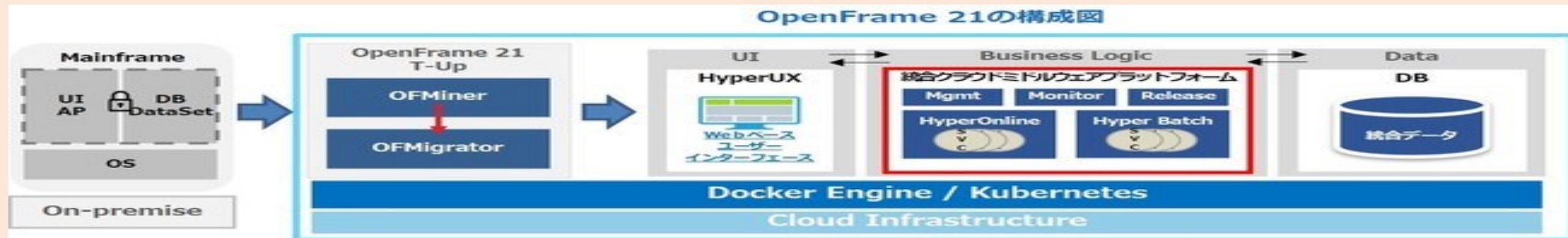


モダナイゼーションの構築のご紹介

豊富なメインフレーム構築経験のあるエンジニアがリーダーとなり、「脱メインフレーム」「クラウド移行」に向けたリホスト・ソリューション「OpenFrame7」、レガシー資産のJava化、マイクロサービス化を提供する「OpenFrame21」を活用したシステム構築を実現します。



モダナイゼーションの体制

承認・報告

プロジェクトマネージャー

必要に応じて適宣報告

プロジェクト・リーダー

進捗管理・課題報告

プロジェクト推進チーム

※出典：日本ティーマックスソフト(株) <https://tmaxsoft-japan.com/>

- PJ進捗管理を行い、PJ全体に影響を与える課題をタイムリーに共有し、対応する体制を整備します。
- 会議体を設けて、進捗・課題報告を定期実施

お問い合わせ

TEL : 03-5434-7760 FAX : 03-5434-7763

E-MAIL : ais@ais-info.co.jp 受付時間 : 9:00-18:00(土日祝日・年末年始を除く)

モダナイゼーションの構築（3段階フェーズ イメージ）

- エシステムテストおよび並行稼働テストを実施
- 運用テスト
- 本番環境構築・本番切り替え

- 資産移行に向けシステム全体の連携を確認
- 照合テストを計画を策定し全体管理
- インフラを整備し効率的に移行できるよう計画

資産分析・移行計画、設計フェーズ

- ・現状の把握・資産分析
- ・移行（計画、設計、検証）

マイグレーションフェーズ

- ・資産移行
- ・照合テスト計画
- ・インフラ構築

照合およびシステムテストフェーズ

- ・照合テスト
（システム・インフラ）
- ・システムテスト
（並行稼働・運用）

費用対効果・社会貢献を精査しながら推進

- システム全体の現状を把握し蓄積された資産分析を実施
- システム移行に向けた全体計画を策定する
- 移行計画の設計・検証を実施